



NITEの役割、私の役割

安全な国民生活の確保に 技術面から貢献



センターのポテンシャルを引き出す

私の役割は、化学物質管理センターの強みを活かしポテンシャルをより引き出すため、技術力の継承や向上、課題をみつけて柔軟にその解決に向けた挑戦ができるような職場環境、仕事のやり方、仕組みづくりをしていくことだと考えています。これは私のやりがいでもあります。

ここ数年は、化学物質管理センターのビジネスモデル、戦略、中期方針の検討・策定などに関わり、それらの実現のために、組織再編や事業計画の見直しを行っています。

NITEにしかできない希少な役割

NITEは、各種の法令や政策の中で使われている評価技術を高度化するために、科学技術の研究成果の実用化や、制度への組み込みなどを実現し得る、恵まれた立ち位置にあります。

この土台となっているのは、技術的な評価や審査を日々行っているという現場の強みと、新たな評価技術の進展や社会的な課題に常にアンテナを張り情報収集をしていることです。

職員のみならず、これから入構されるみなさんには、このようなNITEにしかできない希少な役割を大事にし、活用していただくことを期待しています。

国民や産業発展に役立つやりがいある仕事

NITEは女性の比率が高い組織です。たとえば化学物質管理センターの女性割合は、常勤職員で約45%、管理職も同じ約45%です。育児休業制度等も整っており、性別に関係なく、働きやすく活躍できる職場です。

私たちは、行政当局、産業界、研究機関、国際機関との協力関係を通じたハブ的な機能を有し、安全な国民生活の確保に技術面から貢献しています。学生時代に学んだことが役立つ業務もあるでしょうし、NITEに入ってから身につけられる技術・スキルもさまざまあります。その技術、スキルが、国民生活の安全の確保や我が国産業の発展に役立つことはとてもやりがいがあります。私たちと一緒に、くらしの安全と未来への挑戦を支える仕事に携わりませんか。

2003年入構
化学物質管理センター所長

村田 麻里子

- 1990年 株式会社ブレック研究所入社(～1999年)環境アセスメント調査、国や自治体の環境関連施策に係る委託調査等に従事(1995年に育児休業取得)
- 2003年 横浜国立大学大学院工学研究科物質工学専攻博士後期課程修了(博士(学術))
- 2003年 独立行政法人製品評価技術基盤機構化学物質管理センター入構
リスク管理課
- 2004年 経済産業省製造産業局化学物質管理課化学物質化学物質リスク評価室併任(～2006年まで)
- 2006年 化学物質管理センターリスク評価課
- 2012年 化学物質管理センターリスク評価課長
- 2014年 化学物質管理センター参事官(制度企画調査担当)
- 2016年 経済産業省製造産業局化学物質管理課化学物質安全室課長補佐
- 2019年 化学物質管理センター参事官(リスク評価担当)
- 2020年 化学物質管理センター次長
- 2023年 化学物質管理センター所長